

# 令和元年度 JA種子屋久

## 農業所得の増大・農業生産の拡大

農業振興を図りました!!



### ～経済部の取り組み～



米・安納芋・馬鈴薯・たんかんなどの農産物PRを全国の量販店等で実施しました。全国的に重量野菜を中心に市場相場が低迷する中、生産者部会・県連と連携し、販売促進に力を入れ、当JAの農産物売り場の確保を行い、農家所得の確保に努めました。



### ～農家経営支援センターの取り組み①～

#### ◆声を聴く運動の実践

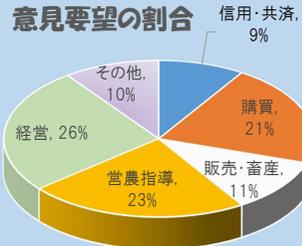
農家・組合員の皆様へ出向く体制の継続を図り、農協事業や農業に関する意見要望を伺いました。経済部や畜産部などと情報を共有し、農家所得向上や経営改善に取り組みました。

#### ◆担い手・雇用対策への取り組み

- ① 法人の設立支援
- ② 集落営農組織の設立支援
- ③ 労災の加入支援
- ④ 新規就農者巡回指導



#### 意見要望の割合



### ～農家経営支援センターの取り組み②～

#### 経営の見える化(青色申告会への加入促進)

組合員の皆様が自分の経営状況を把握し、経営の改善を図るとともに、税金対策をしっかりと行えるように青色申告の会員拡大と記帳代行の体制整備に取り組みました。

- ① 記帳代行の実施(375件)
- ② 新規会員への説明会の開催
- ③ 集落説明会の開催



### ～畜産部の取り組み～

- ① 子牛せり市における出荷牛のバラツキを少なくするため、せり前での下見において飼料給与量の確認と発育をチェックし、購買者ニーズにあった子牛作りを指導しました。
- ② 年に2回の肉用牛改良委員会において、地区にあった基幹種雄牛・準基幹種雄牛を選定しており、今回は、熊本地区子牛育成飼養管理マニュアルも現行にあった体系に見直しを行いました。
- ③ 血統だけでは無い、発育を重視した自家保留・導入を推進し、繁殖雌牛の増頭運動に努めました。



# 自己改革活動報告

## 農業者のコスト抑制対策の実施

数多くの対策を実施しました!



JA種子屋久では、農家の所得向上のため、以下のコスト抑制対策を実施しました。

### ～経済部における対策～

- ① 生分解マルチの被覆による生産性向上と労働力軽減対策
  - ☆さとうきび秋・春植えマルチ試験展張(秋・春植え 1,200本:2,640千円)
  - ☆澱粉原料用甘藷の生分解マルチの普及拡大(国庫補助事業申請業務)
- ② 澱粉原料用甘藷・青果用甘藷生産安定対策
  - ☆育苗ハウス・資材・苗代の一部助成 4,368千円
- ③ 園芸品目の安定生産対策
  - ☆新規品目の検討(しきみ)・J-GAP取得支援(1,000千円)
- ④ 花卉・果樹品目安定生産
  - ☆ハウス補修・苗木助成 1,800千円・微生物農薬の導入支援
- ⑤ 鳥獣害対策
  - ☆シカネットの一部助成 800千円
- ⑥ スマート農業支援
  - ☆ドローンの試験散布(早期水稻・澱粉原料用甘藷・さとうきび)
  - ☆きびトラの普及推進一部助成 300千円
- ⑦ 廃プラ助成
  - ☆廃プラ処理料金の一部助成 3,000千円
- ⑧ 各種団体・組織育成対策助成
  - ☆79団体・29組織に対して 20,000千円助成
- ⑨ 部会組織肥料予約結集推進対策の実施
  - ☆1袋あたり10円～50円助成(種子島9部会・屋久島1部会)
- ⑩ 大口取引先への事業利用分量に応じた購買資材価格の値引き及び助成
  - ☆乾草大口需要対策(1個あたり45円～100円助成)
  - ☆肥料大口需要対策(1袋あたり40円助成)
  - ☆肥料大規模農家対策(1袋あたり100円～250円助成)
  - ☆予約肥料・飼料の単価値引き(全品目1袋あたり22円～27円値引き)
  - ☆春肥予約肥料自己取り助成(1袋あたり30円～40円値引き)
- ⑪ 予約農業の単価値引き(予約全品目5%価格引き下げ)
- ⑫ 農薬フェアによる価格引き下げ(取扱品目12品目/各品目15%価格引き下げ)
- ⑬ 株出し用マルチフェアによる価格引き下げ(1本あたり198円引き下げ)
- ⑭ 飼料用肥料特別販売フェアによる価格引き下げ(取扱品目2品目、100円～200円価格引き下げ)
- ⑮ 南九州3県合同仕入による農業機械の販売(取扱品目1品目、30%価格引き下げ)

### ～畜産部における対策～

#### 繁殖雌牛増頭対策について

- ① 増頭奨励金 1頭あたり5,000円助成/助成総頭数 402頭
- ② 自家保留牛 1頭あたり10,000円助成/助成総頭数 665頭
- ③ 生産性向上対策(イージーブリードの助成) 1回あたり2,000円助成/助成総回数 1,540回
- ④ 異常産ワクチン対策 1回接種あたり1,000円助成/助成総回数 1,540回
- ⑤ 損耗防止対策(子牛へのワクチン接種) 1頭あたり250円助成/助成総頭数 6,181頭

# 地域の活性化

各種イベントの詳細は担当課までご連絡ください！  
皆様のご参加お待ちしております！



## あぐいスクール(年4回)



親子で参加する農業体験を通じて、未来を担う子供たちに農業や食べ物の大切さを伝えています。毎年季節の作物について知ることができます。職員も引率していますので、安心して参加できます。

(生活部)24-2130

## JA共済種子屋久杯U-10 サッカー大会



次世代を担う子供たちの健全なる育成を目的に、毎年サッカー大会を開催しています。昨年は屋久島と種子島大会で7チームずつの参加があり、大会を盛り上げて頂きました。

(共済部)28-3812

## JA親睦ゴルフ大会(8月)



第6回JA親睦ゴルフ大会には137名が参加され大盛況となりました。協賛企業も多く、毎年参加者全員に賞品を準備しています。役職員も数名参加し、多くの組合員が親睦を深めることができました。

(企画管理部)27-1211

## JAまつり(12月)



農畜産物や購買品の販売、演芸大会、抽選会などを行い、農業振興及び地域の活性化を図りました。子供たちが安心して遊べる場所も準備してありますので、親子で来場するとさらに楽しめます。

## アンパンマンこどもクラブ(年2回)



赤ちゃんとお母さん同士の触れ合いの場を開催しています。妊婦さんから0歳のお子様がいっしょにご家庭であれば、会員になることができます。離乳食作りやベビーマッサージなど、子育てに役立つ情報を知ることができます。

(共済部)28-3812



## 年金友の会 企画旅行

年金友の会の会員同士の親睦を深めるため、毎年、会員旅行を企画しています。今年は77名の会員が石川県の兼六園などを訪れ、観光や食事などを楽しみました。他にもゲートボール大会やグランドゴルフ大会なども開催しました。(金融部)22-1212

## 他にもさまざまな活動をしています！



役職員による地域清掃活動



JA女性部給食部会による野菜教室



交通安全教室

# 組合員との徹底した話し合い

皆様の意見要望を確認しました！



☆JA種子屋久では、農畜産物販売事業や購買事業の進め方について事業計画等で整理し、組合員の皆様と徹底した話し合いを行いました。

## 集落座談会



総代会の開催に先立ち、事業報告及び事業計画等の説明を行いました。また、営農座談会も実施し、営農情報の共有化を図りました。

昨年に引き続き懇談会も開催し、組合員の皆様と親睦を深めることができました。

## 組合員宅訪問活動



毎月、JA職員が正組合員の皆様のもとへ直接訪問する活動を行っています。JA事業や農業に関する意見・要望は、お気軽にご相談ください。皆様から頂いた意見・要望は、全役職員で共有化され、今後の事業運営に反映していきます。

## 農業法人との語る会



声を聴く運動の一環として、農業法人の皆様と県連担当者並びにJA役職員での意見交換を実施しました。JA事業に対する要望も出されましたが、今後の当管内の農業基盤維持のために何が必要なのかといった意見等が多く出され、有意義な会議となりました。JAとしては、今回の内容を参考に事業運営に取り組んでまいります。

他にも**通常総代会**、**認定農業者との話し合い**、**各部会・振興会役員会及び総会**等において、**徹底した話し合いを行うことができました**。今後も各会への皆様のご出席をよろしくお願い致します。

～JA種子屋久 経営理念～

JA種子屋久は、組合員・地域住民に親しまれ信頼される地域密着型のJAをめざします。



新しい夢 どんどん  
育てよう明日を  
JAグループ鹿児島

